

こんごういん ニュース 金剛院 NEWS

富士見台小学校・地域連携授業 「くらしの中に伝わる願い」

地域の未来を支える子どもたちへ、お寺からメッセージを発信



この日住職が「地域講師」としてお話をされた富士見台小学校は、2年間にわたって「地域と連携する授業」の取り組みを実践してきました。

この日の授業はその成果発表のひとつとして行われたもので、他校の先生方も多数見学に訪れるなか、授業はスタートしました。

この日の授業はその成果発表のひとつとして行われたもので、他校の先生方も多数見学に訪れるなか、授業はスタートしました。

明治初期の民家や子どもたちの様子などを撮影した写真が映し出されると、皆興味深そうにスライドに見入っています。

その後、住職の話を聞いて初めて知ったことや感想をそれぞれワークシートに記入、グループごとに分かれて話し合ってから、発表タイムに移ります。

「町のほとんどが畑と田んぼだったということを初めて知った」「住んでいる人が800人くらいというのは、ずいぶん少ないと思った」などの感想が聞かれました。



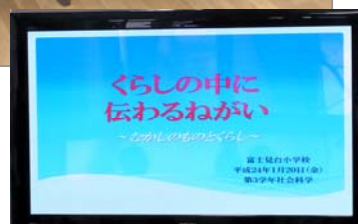
続いて、現在金剛院で行われているイベントの様子を紹介されると、「地域

の人を喜ばせるために和尚さんが一生懸命頑張っているのはすごいと思う」といったコメントも。

最後に「戦後、地域の人たちのつながりは薄くなるいっぽうでした。でも、昨年大きな震災もあって、地域の大切さを自覚する人が増えています。皆さんも地域のために頑張れる人になって下さい」



(上) 150年前の暮らしがわかる写真を、スライドにして見せながらの授業。(下左) 明治初期の家族構成や服装がわかる家族写真(中) 茅葺き屋根の住宅(右) 古くから伝わるお経の本は、子どもたちに現物を見られました。



という住職の言葉で授業は締めくくられました。

45分の授業が終わると、皆一斉に住職の周りに集まって、昔の道具や本を手にとったり、質問したり。なかには「サインして下さい」という声も。公開授業の緊張から開放された、小学3年生らしい姿も印象的でした。



珍しい昔の道具や本のまわりに集まる子どもたち

★ちょうどこの日、米・アップル社が「デジタル教科書」を発表しました。あと10年もすると教科書がiPadになって「昔はこんな紙の教科書を使っていたんだよ」と、話す時が来るのかなあと、ちょっと複雑な気持ちでした。これからの時代は「変わって良いもの・いけないもの」、その分別を、しっかり持ちたいですね。(住職記)